

事業所名

放課後等デイサービスぱすてるネクスト

支援プログラム

作成日

2025年

3月

31日

法人(事業所)理念		<p>【企業理念】 スタッフの笑顔が子供とその家族の笑顔を作る。笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する</p> <p>【企業ビジョン】 夢と希望を持って福祉、介護職に携わり三方良しの精神に係る全ての人を幸せに</p>											
支援方針		<p>① 通所児童の円滑な発達支援と社会的自立の促進</p> <p>② 厚生労働省、こども家庭庁の掲げる5領域(「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」)を網羅し、質の高い支援を実現する</p> <p>③ 各活動を通し、子どもたちの自尊心・自己肯定感・自己効用感の醸成を図る</p> <p>④ 様々な地域交流機会を提供することでインクルージョンの推進を行う</p>											
営業時間		10	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり		
支援内容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 自由時間や外出活動の行動計画を通じて、時間を意識した行動が身に付くよう支援する。 1か月分のおやつ代(利用日数×100円)や昼食購入、外出時の買い物時にお金を計画的に使う練習を通じて、自分でお金の使い方を考えられるよう支援する。 利用者が季節や外出先等のTPOに合わせた清潔感のある身だしなみや服装を意識できるよう支援する。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 外出活動等を通じて日常生活や学校生活を滞りなく行うために必要な基本的な体力を養う。また、自力での移動能力を高める支援も行う。 体幹トレーニングを通じて、正しい姿勢を保つ力を身につける。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 本人との面談やモニタリング、また、自立に関する活動を通して自分の長所と短所を知り、自己理解を深めるよう支援する。 感情コントロールの活動や利用者同士の関わりを通じて、自身の感情を理解し、コントロールできるよう支援する。 感覚や認知の歪み、コミュニケーションの困難さから生じる不適切な行動を予防し、適切な行動へ促すための支援をする。 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自由時間やコミュニケーションの活動を通じて、その場の状況や相手に応じた適切な言葉遣いや話し方ができるよう支援する。 日々の活動を通じ、文字や言葉を使用し、自分の感情や意図を相手に伝えられるよう支援する。 活動を通じ、インターネット上での正しいコミュニケーション方法を意識できるように支援する。 自由時間や活動を通じて、マナーや相手を尊重した言葉遣いを守ることができるように支援する。 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 自由時間を通じて、周囲の人と適切な距離感を保ちながら、良好な人間関係を構築できるよう支援する。 自由時間中の集団遊びを通じて、異年齢の友人との関わりから、社会性を育み対人関係のスキルを向上できるよう支援する。 活動中や自由時間での関わりを通して、人の意見に耳を傾け共感する力を育むとともに、周囲の異なる考えや価値観を尊重し、受け入れることができるように支援する。 ルールやマナーを理解し、日常生活や社会活動の中で適切に実践できるように支援する。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達上におけるニーズにご家族が気づき、日常生活の中で適切な対応ができるよう促し、必要な支援を伝える。 保護者同士が交流し、日々の悩み等を気軽に情報共有できる場を提供する。 子どもの信頼感を育むとともに、子どもの感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続するための支援を行う。 					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 進学先や就職先等に関する情報を提供し、必要に応じて見学の調整や同行支援を行う。また家族が安心して進路を選択できるよう丁寧にサポートする。 必要に応じて移行先と連絡を取り、具体的な調整を行う。また必要な手続きや準備のサポートをし、円滑な移行ができるよう支援する。 進路や移行先の選択について、本人とご家族と一緒に最適な選択肢を見つけられるよう支援する。また本人に必要な情報を提供し、進路等の決定に向けたサポートを行う。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 近隣地域での職業体験や買い物を通じて人的交流を図る。 地域の子ども部会等に積極的に参加し連携を図る。 子どもが通う学校や放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、放課後等デイサービス計画の作成又は見直しに関する会議を開催する。 虐待が疑われる場合には、即時児童相談所やこども家庭センターとの情報連携を図る。 					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 毎週1回の職員研修や、県が実施する研修に積極的に参加し、専門知識や支援スキルを向上させる。 子どもの支援に関する資格の取得を支援し、専門性を高める。 定期的に自己評価や振り返りを行い、職員一人一人が自身のスキルや課題を把握し、支援に反映させる。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 職業体験(レストラン、フラワーショップ、工務店、コンビニエンスストア、アパレル等) 会社見学(特例子会社、就労施設等) ニーズや季節を意識した調理活動 時節に応じたパーティー モルック大会 運動会 山登り 											